在日大韓基督教会
宣教90周年標語
일어나 예수 그리스도의 빛을 발하자
立って イエス キリストの光を放とう
(이사야60:1, 마태 5:16)

福音新聞
THE GOSPEL NEWS

4月1日 (日) 〈2001年〉 第589号
発行所 福音新聞社
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2−3−18
電話03(3202)5398番
発行人 金徳化・編集人 姜栄一
毎月1回1日発行 購読料1部100円
昭和38年9月20日 第3種郵便物認可
印刷所・青丘文化社
Tel.047-495-2555 Fax.047-432-7912

第13回KCCJ人権シンポジウム開催

「21世紀の在日同胞とKCCJの宣教」主題に

二月十一日から十三日まで、京都の関西セミナー・ハウスにおいて、第十三回KCCJ人権シンポジウムが開催され、各地方会の社会部員をはじめ、四一人が参加した。今回はとくに女性会からの参加者が多く、日常的な教会生活に即した具体的な討論ができた。

「二一世紀の在日同胞とKCCJの宣教」を主題とした今回のシンポジウムは、金徳化総会長による開会礼拝、黄義生・宣教奉仕委員長の開会挨拶で始まった。まず二日間にわたって、李鍾元・立教大学教授の講演「南北会談と在日」、徐貞順牧師の聖書研究「神と人とのパートナーシップ」(マタイ15:21~28)、マッキントッシュ牧師の「在日宣教四十年を振り返って」と題しての記念対談(司会:李清一牧師)、裵重度長老の発題「地方参政権と国籍」、合田悟牧師(関西外キ連)の発題「外国人住民基本法への取り組みに向けて」、そして朴昌煥牧師、金広照長老、金信栄執事による「地方自治と教会の参与」と題してのパネルディスカッションが行なわれた。そしてこれらの講演・発題を受けて、活発な分団協議・全体協議を経て、「二一世紀の私たちの課題」を確認する声明を、最終日に採択した。

そして、安辰男・社会部長の閉会礼拝「救いの道」(マタイ8:28~31)をもって、参加者は勇気と励ましを与えられて、各教会・各地域の「現場」に帰った。

(報告:RAIK)

大韓聖潔教会와의 協議会開催

宣教師 交流 등을 積極的으로 推進키로

基督教大韓聖潔教会・海外宣教委員会(委員長 尹哲重)와 本総会의 世界宣教協力委員会(委員長 慶恵重)와의 協議会가 지난 二月과 三月 東京과 서울에서 開催됐다。

이번 協議会는 基督教大韓聖潔教会와는 一九九五年에 宣教協約을 締結했으나 그동안 相互間의 交際가 없어 具体的으로 宣教師 交流 등을 積極的으로 推進하기 為해 첫 모임을 가졌다。

二月八、九日 東京에서 가진 모임에는 基督教大韓聖潔教会에서 宣教局長 李昌揆牧師가 聖潔教会의 宣教政策과 宣教師 派送에 関한 内容을 発題하였고、本総会에서는 総幹事 姜栄一牧師가 在日大韓基督教会의 歴史와 宣教政策에 関한 発題와 基督教大韓聖潔教会 派送 宣教師인 裵明徳牧師의 日本宣教에 関한 報告를 하였다。

第二次 모임은 東京会議를 中心으로 서울에서 가졌는데 서울会議에서는 具体的인 方案을 論議했다。

서울会議에서 合意한 決議는 다음과 같다。

(1)在日大韓基督教会가 在日同胞 三世의 韓国 牧会訓練 및 神学訓練 履修를 為해 協力을 提案하고 基督教大韓聖潔教会는 이를 積極 受容하여 具体的 要請에 따라 事案別로 協力하기로 하다。

(2)両教団의 交流를 活発히 展開하기로 하고 먼저 教役者 交流 事業을 推進키로 하다。

品川教会서 教会堂献堂式과
慶恵重名誉牧師推戴式 挙行

創立以来 四十年째에 六層建物 주어져

三月十八日 午後三時에 品川教会에서는 教会堂 献堂式과 二三年間 牧会해 왔던 慶恵重牧師의 名誉牧師 推戴式이 盛大히 挙行되었다。

四〇年 教会歴史에 民団事務室과 日本教会의 幼稚園에서 礼拝를 드려왔으나 그동안 꾸준히 모아온 建築献金 一億円으로 六層建物(延五二八㎡)을 購入하게 된 것이다。

慶恵重牧師의 司会로 시작된 献堂式은 申鉉錫牧師의 祈祷에 이어 地方会 副会長 金柄鎬牧師의 「기쁨으로 거두리로다」(詩篇126:1~6)의 説教가 있은 後、建築経過報告、聖殿奉献의 礼式이 厳粛히 進行되었으며、二三年間 礼拝場所를 提供해 주었던 日本그리스도教品川教会(牧師:吉村和雄)와、教会堂 椅子와 講台를 献物하는 등 教会建築에 物心両面으로 協力하여 왔던 崔永善長老、安聖恩勧士夫妻(本国 所望教会)에게 感謝牌를 贈呈하였다。

慶恵重名誉牧師 推戴式은 臨時堂会長 金君植牧師의 司会와 金東洙牧師의 祈祷、地方会 書記 洪性完牧師의 略歴紹介와 推戴辞에 이어 地方会長 鄭相熙牧師의 宣布로 進行되었다。

祝辞로는 総会를 代表하여 総幹事 姜栄一牧師、日本品川教会 佐伯洋一郎名誉牧師가 하였다。

四〇年間의 牧会를 定年으로 隠退하는 慶恵重牧師는 一九三一年 忠南 清州市에서 出生하여 長老会神学大学校를 卒業한 後、本国에서 伝道師로 視務하였으며、一九七一年에 来日、京都教会와 千葉県의 館山에서 開拓伝道에 힘쓰다가 一九七七年부터 現在의 品川教会를 二三年間 섬겨왔다。

本総会가 女性按手를 하게되어 第一号 女性牧師로 按手받아 話題가 되기도 하였고、総会의 婦女局長、伝道局長、関東地方会長等을 歴任한 後、第四四回期 総会長을 歴任하였다。

一九九九年에 아시아에 있어서 마이노리티로서 첫 女性総会長으로 選出된 것이 女性人権向上에 功이 큰 것을 認定받아 美国 브롬필드大学에서 名誉法学博士 学位를 授与하였다。

総会神学生研修会開かる

韓国宣教師も交え、意義深い四日間過ごす

「二〇〇一年度総会神学生及び宣教師研修会」が三月五日~八日、関西地方会で開催された。

我々在日大韓基督教会の将来を担って行くうえで、それぞれ異なる環境で育った者同士が、主の道に召されたゆえにこそ、文化や慣習の違いを、互いに神からの豊かな個性として受け止めることができなければならず、その意味で、今回からは神学生だけでなく、宣教師の方々にも加わってもらった。

朝六時からの大阪教会の朝祷会に全員が加えられたこと、また大阪北部教会、平野教会、京都教会の水曜祈祷会に三つのグループに分かれての出席は、神の恵みを分かち合える大きな祝福となった。主にあってのご協力と配慮に言葉がない。

総会神学生十四人、宣教師七人の参加であった。

また、今回、関西地方での各教会の訪問にとどまらず、地方会の任職員と青年会全国協議会とのそれぞれ二時間に及ぶ懇談の時を持つことができ、在日大韓基督教会の一員たる意識に触れる、とても意義深い研修会となった。

生野地域訪問、釜ヶ崎地域における失業者伝道集会(浪速伝道所)への参加、京都南部教会の周辺と京都教会の向上社保育園の見学等々、主に感謝!わたしたちは主のもの、その民、主に養われる羊の群れ。

(報告:洪性完牧師)

ホームレス(失業者)宣教の課題(3)

金鐘賢牧師（浪速伝道所）

5、浪速伝道所の宣教活動

浪速伝道所は、一九九七年七月に創立した以後、今まで韓国人労働者と日本人失業者を対象に宣教活動をして来た。

一九九九年十二月からは、西成公園近くに教会を移転してホームレス兄弟たちともっと親しく交わりをしながら、専門的に宣教活動をしようと、頑張っている。

（1）金曜伝道集会：毎週金曜日正午から一時まで、伝道集会を開いて、集会後に昼食を提供している。現在、百人～百二十名ぐらいが出席していて、たくさんの人達がイエス様を信じると決信している。食事後には、失業者兄弟たちがボランティアとして、掃除や皿洗いを手伝う奉仕活動をしている。現在一週間に二回、食事を提供するのに米四十キロと一万～一万五千円ぐらいの食事費用が支出されている。

（2）愛の家：今まで韓国人労働者たちの中で事故にあった人、野宿者、病気にかかって、頼る所がない人たちに寝食を提供しながら回復を手助けする活動を続けて来た。二〇〇〇年度にも中風にかかった甘昌守氏（六十五歳）に寝食を提供しながら韓国に帰国するまで教会で共に生活した。労働現場で事故にあい、腰が骨折して、大小便をとってあげなければならない中国同胞の面倒を四ヵ月間みてあげた。

（3）失業者のための日本語礼拝：毎主日午後二時に約八十～百名の日本人失業者兄弟たちが出席して礼拝を捧げ、礼拝後には食事を提供している。

（4）弟子訓練聖書勉強会：失業兄弟たちの中で主の弟子として献身しようとしている者たちを対象に毎週聖書勉強会を運営している。

（5）生活用品分配：各教会から収集した古着、布団、毛布、靴下、タオル等を季節にそって分類し、一年に三～四回分配している。

（6）職業紹介：飲食店や建設現場の職業を紹介して、私たちの教会を通じて何名かの兄弟たちが職業を得て生活をしている。

（7）理髪奉仕：失業兄弟たちに無料で理髪奉仕をしている。

（8）韓国人労働者のための活動：不法在留中に逮捕された者たちに面会したり、法廷の傍聴をしたり、帰国費用がなくて収容生活をしている者たちに帰国費用を支援している。

6、宣教の課題

ホームレス宣教は一時的な活動になってはいけない。だれかが専門的に長期間続けなければいけない。長期間続けることによって、ホームレス兄弟たちと深い交際をすることができるし、信頼を持ってもらえる。それと長期的に誠実にホームレス宣教活動を続ける時、後援してくれる教会や団体、機関や個人後援者たちが増え続けると思う。

日本の各教団がホームレス宣教のための窓口を持っている。関西地域の場合、日本基督教団は憩いの家、カトリック教は故郷の家、日本純福音教団は救霊会館、ルーテル教団は希望の家を運営している。私たちの教団もホームレス宣教活動のための窓口の役割を担当する教会を建てなければいけないと思う。

長期的な宣教をするためには、安定的な後援者グループが形成されるだけでなく、地域住民の反対を克服するための建物を持たなければならない。ホームレス宣教の課題は、たくさんの人を集めて食事を与えることでなく、どうすれば、魂を救えるのかである。そのため、聖書勉強のプログラムや中毒者たちの回復のためのプログラムなどが開発されなければいけない。

第13回KCCJ人権シンポジウム
声明文

在日大韓基督教会（KCCJ）宣教奉仕委員会社会部、在日韓国基督教会館（KCC）、在日韓国人問題研究所（RAIK）、西南在日韓国基督教会館（西南KCC）は、『二一世紀の在日同胞とKCCJの宣教』という主題のもと、二〇〇一年二月十一日から十三日まで、京都のクリスチャン・アカデミー関西セミナーハウスにおいて第十三回KCCJ人権シンポジウムを開催した。

このシンポジウムには在日大韓基督教会をはじめ、日本キリスト教協議会、日本基督教団、日本キリスト教会、外登法問題と取り組む全国キリスト教連絡協議会（外キ協）、在日大韓基督教全国教会女性連合会から四十一名が参加した。

在日同胞は、日本の植民地支配によって日本への移住を余儀なくされ、解放後も祖国の南北分断によって日本にとどまらざるを得ず、戦後も一貫して政治的に抑圧され、社会的に疎外され、経済的に搾取され、苦難の生活を強いられてきた。そのような中で、一九七七年の第一回以来二十四年、十三回にわたって行なわれてきたこのシンポジウムは、在日大韓基督教会が在日同胞と日本社会にどのように応答していくべきかを教会宣教の立場から問うてきた。そしてその中から入管法改悪反対、行政差別反対、民族差別撤廃、指紋押捺拒否の闘いを各教会、各地において展開してきた。私たちは今日にいたるまで、世界教会、母国教会、日本の教会の熱い連帯と協力があったことを覚えると共に、神が私たちと共におられ、私たちを強め導いて下さったことに感謝する。

一九八〇年代から外登法の抜本改正運動を担ってきた私たちは、多くの日本人キリスト者とともに外キ協を組織し、その運動を共に担う中で、昨年四月、指紋制度全廃を勝ち取った。そして一九九八年、在日同胞と近年著しく増加した移住労働者とその家族の基本的人権を守るため『外国人住民基本法』を提起するにいたった。これはこれまでの私たちの運動の結実であり、日本社会を『共生社会』に導くためのものである。

さらに昨年六月、南北首脳の出会いによってもたらされた南北共同宣言は在日社会においても新たな和解の機運をもたらし、東アジアの平和と共存に向けて在日大韓基督教会の果たすべき役割を確認した。また日本における新たなナショナリズムの台頭は、日本社会のみならず東アジアの平和への脅威となっており、私たちはこれに抗し、多元化社会の実現に向けて努力を傾けていくことを決意した。

私たちは、昨今の国会での外国人住民への地方参政権論議が、外国人住民の地域社会への政治参加の権利のあり方からスタートしながらも、いつの間にか国籍取得の論議へとすりかえられていることに反対する。地方自治、住民自治に日本人も外国人も平等に参画するという本来の意味での地方参政権の論議のあり方が問われている。

私たちは、在日同胞、移住労働者とその家族が日本社会において基本的人権が守られ、地域社会で生き生きとした生活が営まれるよう地方自治に積極的に関わっていくことの必要性を確認した。

私たちは、今回のシンポジウムの成果を踏まえ、在日大韓基督教会の宣教百周年にむけ、以下のことを課題として取り組むことを決意する。

1、「外国人住民基本法」制定に向け、各教会において署名運動、学習会、スーパーバイザーの養成に取り組む。

2、「共生社会」の実現に向けて地方自治、住民自治に積極的にかかわる。また在日外国人の基本的権利としての地方参政権を求める。

3、世代間、男女間、国籍の違いによる葛藤を克服し、多様さを豊かさとする教会形成を推進する。

4、六・一五南北共同宣言を強く支持すると共に、在日社会における分断を克服するため和解と協力を進める。また、朝鮮民主主義人民共和国と日本の国交正常化交渉において、日本政府が過去の植民地支配を謝罪し、誠実に賠償に応じることを求める。

二〇〇一年二月十三日

総幹事活動日誌

2月

●会議
○日本聖書普及会
日時：2月2日
場所：日本聖書協会
○関東・任職員会
日時：2月6日
場所：東京教会
○宣教協議会
日時：2月8・9日
場所：東京教会箱根山荘
内容：海外宣教委員会との協議会
○KCCJ人権シンポジウム
日時：2月11～13日
場所：関西セミナーハウス
○平和統一宣教委員会
日時：2月13日
場所：関西セミナーハウス

●説教
○東京中央教会
日時：4・11・25日

3月

●会議
○教育部会
日時：3月5日
場所：大阪KCC
内容：教育者研修会準備
○総会任員会・人事委員会
日時：3月6日
場所：大阪KCC
○憲法委員会
日時：3月6日
場所：大阪KCC
○麦仁道宣教師総括
日時：3月8日
場所：大阪KCC
○宣教協議会
日時：3月19～20日
場所：聖潔教団
内容：海外委員会との協議
○AVACO理事会
日時：3月26日
場所：AVACO会議室

●委任式
○鄭然元牧師
日時：3月4日
場所：大阪教会

●献堂・名誉牧師推戴式
日時：3月18日
場所：品川教会

●説教
○東京中央教会
日時：3月4・11・18・25日

住所の変更

●金永秀牧師
〒902-0071
那覇市繁多川4-16-43
☎〇九八-八三六-二一一〇

장터
韓国食品・書籍・CD・ビデオ
㈱韓国広場
新宿店：東京都新宿区大久保1-17-7
TEL (03) 3232－5400
FAX (03) 3200－2949
代表取締役 金根熙

不動産業務全般
免許番号・愛知県知事③第5426番
太栄企業株式会社
代表取締役 金光洙
（名古屋教会 長老）
事務所 名古屋市熱田区川並町2番21号
（名古屋市中央卸売市場入口南側大栄ビル）
電話 052(682)1177㈹
自宅 名古屋市千種区御影町2－55－5

株式会社 ニューキング
有限会社 三愛
取締役社長 李鍾善
（名古屋教会 長老）
ニューキング 四日市市野田1丁目965－1
TEL (0593)31－4771㈹
三愛 岡崎市大和町字荒田14－1
TEL (0564)31－8893㈹

堺教会

金永柱牧師委任式挙行

趙成允名誉長老推戴式等も同時に

二月二五日、堺教会において金永柱牧師の委任式が関西地方の百数名の信徒・牧師・来賓が集まって執り行われた。

臨時堂会長孫一救牧師の司会のもと、李炳球牧師の祈祷と李昌雨牧師によるヨハネ福音書二一章十五～十九節の聖書朗読があり、金元治元老牧師の「ペテロの愛」という題で説教があった。

続いて委任される金永柱牧師を紹介し、関西地方会長金安弘牧師の司式のもとで、誓約、祈祷、宣布が行われた。

引き続き二十三年間にわたり堺教会の長老として奉仕した趙成允名誉長老推戴式、朴順済、金石然名誉執事推戴式も行われた。そして金栄植牧師が委任された牧師に、朴珍烈牧師が堺教会の教友に勧勉を述べた。続いて、西部地方会を代表して地方会長鄭寿天牧師、総会を代表して総会長金徳化牧師が祝辞を述べた。

最後に委任された金永柱牧師より、推戴を受けた趙成允名誉長老、朴順済、金石然名誉執事に推戴牌贈呈と祝祷をもって委任式を終えた。

今回、委任された金永柱牧師は、一九六三年韓国慶州で生まれ、聖潔神学大学と大阪基督学院の神学科を卒業し、福岡教会で副教役者として仕え、一九九六年に西南地方会で牧師按手を受けた。

米国に渡り、アズサ大学ハガード神学大学院を卒業して、このたび堺教会に委任された。家族は金京姫師母と長男成訓（小三年）。

京都南部教会

楊尚眞牧師委任式挙行

経験豊富な二世牧師に期待

三月十一日、関西地方会京都南部教会にて楊尚眞牧師委任式が地方会傘下の教職者、信徒、来賓合わせて二百人余りが参席する中、執り行われた。

臨時堂会長李炳球牧師の司会のもと、礼拝が始まり、朴寿吉牧師の祈り、鄭然元牧師の聖書朗読（エレミヤ5：1～5）、金栄植牧師の「真実を求める人」と題する説教があった。

続いて、地方会長金安弘牧師の司式のもと、誓約と宣布がなされた。その後李海春牧師、金鉄斗長老による勧勉、総会長金徳化牧師による祝辞が述べられた。

最後に、委任を受けた楊尚眞牧師は目標とする牧会的ビジョンを答辞として述べた後、家族讃美を捧げ、祝祷でもって委任式を終えた。

委任された楊尚眞牧師は一九六二年、楊炯春牧師の長男として生まれ、アメリカのニューヨーク州立バッファロー大学、シカゴ神学大学院、韓国延世大学院を卒業し、一九九二年関東地方会にて牧師按手を受けた。

その後、大阪第一教会で講道師、東京教会での副牧師を経て、一九九七年からシカゴ神学大学院に留学して博士課程を終え、このたび京都南部教会に赴任された。家族は金周弦師母と長女の芸眞がいる。

大阪教会

鄭然元牧師委任式挙行

威風堂々、大勢の信徒の期待一身に担い赴任

「威風堂々」。神の宣教の使命を担う教会の新たな出発にふさわしく、ブラスバンドが奏でる音楽をバックに、司会の金安弘牧師を先頭に、礼拝を担当する牧師・長老が入場した。その日、大阪教会全体には期待と喜びが、静かに、しかしはっきりとみなぎっていた。それは、昨年十二月中旬に着任された鄭然元牧師とはすでに交わり、話し、説教を聞いてきた上で、私たちは希望をもって良いのだと、信徒一人一人が確信していたからである。

金徳化牧師の説教「神の秘密を預かる者」は、Ⅰコリント四章一～五節のみ言葉に基づき、教職者の使命の尊さと奥行きを、気高く力強く解き明かすものであった。

委任式では、誓約式文が韓日両国語でプログラムに印刷されており、一人一人が十分に理解した上で（基本中の基本）応答ができ、幸いであった。

ここまでで、式は四五分を経過。しかし、この後の祝辞に約一時間かかってしまい、このような式典では当然とも思われるが、祝辞を述べる側と受ける側、プログラムの組立てなど、最後まではつらつとした空気を維持する工夫も大切かと思われた。

終わりに、鄭然元牧師が韓日両国語でプリントされた答辞を読み上げた。心のこもった誠実な内容で、感傷的よりは、感動的に式を閉じることができた。

後日、鄭然元牧師は「責任の重さを感じました。信徒間、教会間に協調関係が打ち立てられることを願います」と語り、また全聖三副牧師は「良かった！願いを聞いてくださった神様に感謝します」と語った。

鄭然元牧師は一九五四年釜山で生まれ、長老会神学大学院を卒業して一九八三年に来日、東京中央教会で十八年間牧会された。その間、関東地方会の会長、総会議長、憲法委員として活躍された。

家族は楊愛卿師母と一男一女。

（報告：金必順伝道師）

西部地方で連合研修会開催

在米韓人牧師講師に在日理解深める

二月十一日（主日）午後五時から十二日（月）午後一時まで、兵庫県加古川プラザホテルにおいて、第一二回西部地方会連合研修会が開催された。

これは毎年の二月に、諸教会の諸職たちの教育及び信徒教育のために、地方会伝道部と教育部との主催で行われているものである。

今回は、現在アメリカの世界聖書長老教会担任牧師及びコヘン神学大学博士院長である姜信権牧師を講師として招いた。

今年の研修会は九一人が参加し、今まで一番多くの信徒が集まり、神の御言葉と讃美、祈り、主にある豊かな交わりの一時をもつ、恵みの研修会となった。

講演は四回に分けて行われ、第一講演を聖書マルコ十一章二五節から三〇節をもって「すべてわたしに来なさい」という題で、第二講演は聖書マルコ五章二五節から三四節で「平安に帰りなさい」という題、第三講演は聖書ルカ十七章十一節から十九節で「その九人はどこにいるのか」という題で、聖書ヨハネ二一章一節～十四節が朗読され、「舟の右側に網をおろしなさい」という題で、最後の講演が行われた。

今回は講師の分かりやすく、力強いメッセージに皆が多くの恵みを受ける研修会となった。特に、講師がアメリカ在外同胞特例法制定合同委員長でもあり、私たち在日韓国人同胞の理解をともにすることもできて本当に有意義な集会であった。（報告：李教錫牧師）

在日大韓基督教会浪速伝道所

本教会はイエス・キリスの福音を宣べ伝えるために二〇〇一年三月二九日に、左記の建物を購入しました。左記の建物を当法人の名義にするため、ここに公告いたします。

記

1、土　地
所在地番：大阪府大阪市西成区北津守四丁目五二番七
地　目：宅地
面　積：四六・二六平方メートル

2、建　物（三階建）
所在地番：大阪府大阪市西成区北津守四丁目五二番七
面　積：計　一〇〇・三三平方メートル
一階　三三・六四平方メートル
二階　三三・九三平方メートル
三階　三三・七六平方メートル

二〇〇一年四月一日

在日大韓基督教会総会
代表役員　金　徳　化
書記　朴　寿　吉

聖ルカ歯科医院
平日：午前9時～午後1時、午後3時～午後7時
土曜：午前9時～正午
休診：火曜日、日曜日、祝日
診療科目：一般歯科、小児歯科
＊留学生は特別優待します。
院長 関 彬 夫（東京日暮里教会執事）
東京都墨田区太平3-8-2 東和ビル1F
TEL 03-5819-8257
FAX 03-5819-8267
JR錦糸町駅北口徒歩５分

CORAL WATER（珊瑚の水）
ミネラルウォーター、カルシウム
冷温水機直輸入
冷温水をワンタッチで便利に。
㈲ I.C.C.東京
代 表 表 京 先
（東京ベテスダ教会 執事）
〒123-0845 東京都足立区西新井本町5-4-9
TEL 03-3880-3159　FAX 03-3880-4404

愛三グループ
愛三産業株式会社
済州カントリー倶楽部
代表取締役会長 白　昌　鎬
代表取締役社長 白　一　善
本　社　東京都墨田区江東橋4-6-4　TEL（03）3633-7477㈹
済州C・C　韓国済州市寧坪洞2238-2　TEL（064）702-0451㈹
ソウル事務所　韓国ソウル特別市鍾路区内需洞167　TEL（02）739-3327㈹

関東女性会와 地方会婦女部 共催로

春季一泊研修会 開催

本国 神学大学教授 講師로「霊性訓練」행해져

関東地方会 婦女部(部長：趙重来牧師)와 女性会連合会(会長：姜順子執事) 主催로 二月五~六日에 一泊二日의 新春研修会를 가졌다。

本国의 長老会神学大学校 教授 柳海龍牧師를 講師로「霊性과 霊性訓練」이란 主題로 富士山을 바라보고 있는 河口湖에서 四五名이 모여 恩恵롭고 貴重한 時間을 가졌다。

現代의 物質文明에 삶을 充足시키려 하며, 依存하고 있는 오늘, 悲惨하고 끔찍한 事件들이 매스코뮤을 통해 들려오고 있고, 오늘의 이러한 状況들을 단지 学問이나, 政治, 経済 問題로 그 答을 얻으려 하고 있는 実情이다。

그리고 人間의 倫理나 道徳으로 가르치려 하지만 解決할 수 없는 問題이다。그것은 곧 霊的인 枯渇状態에 처해있기 때문이다。

우리의 霊的싸움은 単純한 道徳訓練이나 倫理的 教訓을 가르치는 것만으로 勝利할 수 없고, 十字架의 能力과 聖霊의 도우심으로 우리의 霊이 強健해 지는「霊性訓練」의 必要性을 切実히 느끼게 하는 研修会였다。

今番 研修会에는 特別히 地方会 牧師님들과 長老님들이 関心을 가지고 多数 参席하여 함께 交流하는 좋은 時間을 가졌다。

（報告：李恵媛勧士）

西部女性会が 一日研修会開く

高齢者介護問題など貴重な講義受ける

西部地方教会女性連合会（会長：沈貞児）主催による「二〇〇一年度会長会議と一日研修会」が三月六日、神戸教会堂にて開催された。

開会礼拝は、一月に神戸教会牧師に就任された権寧国牧師による「協力で得る有益」（伝道の書4：9~12）という題目でのメッセージと祝祷があった。

続いて会長会議は、各教会女性会の紹介と各会長による二〇〇〇年度の年間活動報告があり、西部女性連合会からも活動報告、また「セットンの家」建築献金未納分についての報告、全国女性連合会の総務である徐貞順牧師も参席して、現在の募金状況などの詳しい説明も受けた。

午後から行なった一日研修会での今回のテーマは、これからの高齢化社会に向けてどうしても避けては通ることができない「介護について」であった。講師は、実際に訪問介護者としてご活躍されている松田順子先生に来ていただいた。看護婦として、看護婦学校の教師として、またご自分の夫の介護をした経験等をもとにしての有益なお話を伺った。

質疑応答の時間も設け、介護保険の問題点とまたその利用法等について教えていただいた。またこの介護の問題は体のケアだけにとどまらず心のケアと一つになって初めてその効果が発揮されるものであることをも教えられた。

（報告：金晴美書記）

中部女性会が 一日研修会開く

鄭淑子牧師招き力強い講演聞く

中部地方会女性連合会が去る二月二一日、名古屋教会において韓国基督教長老会から鄭淑子牧師を講師として招き、一日研修会を行った。

講師の講演は午前と午後に分けて行われ、午前は旧約聖書創世記四章一~十六節を本文にし、カインとアベルの物語を通してなぜ殺人がおきたのか、捧物を捧げるという神に対する礼拝の場が殺人につながっているのはなぜか、神の祝福を受けたアベル、受けないカインを対比しながら何がどう違うのか、神が求めておられるのは何かを、レビ記七章一~十六節を読み、捧げ物をする心を深く掘り下げ、その当時の生活背景を考えながら、また講師からも問いを投げかけられ応答をする時をもった。

午後は新約聖書マルコ十章三二~四五節を読み、その中で三七節の栄光をお受けになる時の栄光とは何かと問われた。ヤコブとヨハネはエルサレムの回復、この世の王国の復興を思っていたと想像できるが、私たちはイエスの栄光とは十字架であり、十字架の救いの恵みを神様は平等に誰にでも与えられる、神が願っておられる平等社会を人間が差別社会にしてはならない、と力強く語られた。

今回の講師として来られた鄭淑子牧師は横浜生まれの在日二世で、名古屋教会の伝道師として奉仕された経験もあり、今年から来年にかけての計画で在日大韓基督教会女性会のプログラムのために宣教師として来られる予定である。

（報告：金恩漢）

全協「青年のための研修会」開く

「変化し成長する青年」主題に内的問いかけ

去る二月十一日~十二日に日本福音教会ルーテル教会において、全国青年協議会主催の第一回青年のための研修会が三十名参加して開かれた。

例年行われていた指導者研修会を改め、青年のための研修会に名前を変えたため、内容は指導者研修会より青年の問題や悩みに入り込んだものが組まれた。

第一日目、開会礼拝は金必順伝道師（大阪教会）の説教、その後アイスブレーキングの時間として、分団にわかれて一人一人を理解するゲームをし、自分が言える事、言えない事、他人が自分に対して思っている事を画用紙に書き自分探しのヒントを得た。

それから、代表の朴亜紀子姉妹による二〇〇一年度全協の主題見解「主題：変化し、成長する青年の場として」を行った。質疑応答では、これから全協が何をし、また何を考えていかなければならないのか、方向性などを話し合った。

二日目は、朝の祈祷会から始まり、リーダーシップトレーニング、各地方会からの報告・発表があり、その後、地方会から問題点や悩みを全協のOBでもある呉光現さん、河礼子執事、田中栄さんを交えて、過去と現在の違いや、地方会の良いところを吸収し、地方会レベルで話し合った。

閉会礼拝は朱文洪牧師（小倉教会）がなさった。

この研修会を通して、初めて全協行事に参加する青年や、若い青年がたくさんいたのが一番の収穫であった。

（報告：金信志）

総会伝道学校開催

日　　時：2001年4月9日午後2時
　　~11日午後6時
場　　所：大阪教会
講　　師：朴正植牧師外、3名
参 加 費：無し（但し、交通費個人負担）
参加申請：鄭然元牧師
　　☎06-6712-3377（大阪教会）
主　　催：宣教・奉仕委員会伝道部

関西地方会復活節音楽礼拝

●日時：2001年4月15日(主日)午後5時
●場所：大阪教会
●主催：関西地方会伝道部
●説教：楊尚眞牧師

《主イエスの受難と復活のできごとを聖書によってたどり、讃美によって心深く刻む夕べの讃美礼拝です》

関西地方聖歌隊連合会

関東地方会
2001年復活節聖歌大会

関東地方会では2001年復活節を迎え、次のように聖歌大会を開催いたします。

－記－

日　　時：2001年４月15日（復活主日）午後４時
場　　所：在日大韓基督教東京教会
参　　加：関東地方会各教会
参加種目：各教会　合唱１曲
・讃頌歌、聖歌、福音讃頌 中에 自由曲 １曲
・参加人数、参加者構成（男女老少）が審査に大きく反映されます。